

1. 2023年度 事業計画書

2023年3月

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

1. 2023年度 事業計画書

1-1. 活動方針

認定匿名加工医療情報作成事業者の方針にあわせ、2022年度に発生した「医療情報の不適切な取得事案」（以下、不適切事案とする。）を真摯に反省し、以下の再発防止策を徹底して実施した上で、患者様、医療機関様、データ利活用者様をはじめとする関係の皆様への説明と必要な対応を継続しつつ、認定医療情報等取扱受託事業者としての活動①②③を行っていく方針とする。

■ 不適切事案で講じた再発防止策

- ・医療機関等からの医療情報等の取込みを行う直前に、対象データに未通知の患者様、およびオプトアウトの求めのあった患者様のデータが含まれていないか再度確認する仕組みを構築。
- ・今後、ソフトウェアの不具合を防ぐため、ソフトウェア開発および運用プロセスの改善を実施。
- ・安全管理措置（不正アクセス、漏えいなどに対する対策）を全体的に見直し。
- ・セキュリティインシデントが発生した場合にすべての関係者に迅速にエスカレーションされるようルールを改善。
- ・今回の事象を鑑み、教育・訓練の方針・計画・内容の見直しを行い、再教育を関係者に実施。

① 匿名加工医療情報の利活用事例の蓄積

次世代医療基盤法に基づく利活用事例を更に蓄積すると共に、引き続き民間企業、学術機関、行政団体からの利活用ニーズを収集し、提案することで幅広い主体による利活用を推進する。また、画像情報事業の実現と展開に向け、認定匿名加工医療情報作成事業者を含めた関係者との調整を進める。

② セキュリティ等運用体制の維持、改善

次世代医療基盤法に基づく認定医療情報等取扱受託事業者として認定匿名加工医療情報作成事業者を支援するとともに、委託業務の運用を適切に行う体制（組織、運用ルールなど）、情報基盤の維持を行うとともに、当該運用の徹底に必要な改善活動を実施する。

③ 匿名加工医療情報作成事業の活用実績を積み重ねるとともに、次世代医療基盤法に関わる広報活動を進める。また、次世代医療基盤法の改正を踏まえ、医療情報利活用基盤のあるべき姿を認定匿名加工医療情報作成事業者と共に研究する。これにより、医療情報取扱事業者、国民、匿名加工医療情報取扱事業者全ての関係主体における、当法人事業の理解促進を図る。

1-2. 医療情報を提供する医療情報取扱事業者

※ライフデータニシアティブ事業計画書と同様

認定匿名加工医療情報作成事業者（認定医療情報等受託事業者）の認定を受け本格的な事業の展開に着手している。不適切事案で講じた再発防止策を徹底し次世代医療基盤法で定められた安全管理基準を遵守すると共に、医療情報取扱事業者への説明など対応を継続し信頼関係を築き、多くの医療情報取扱事業者から賛同を得て匿名加工医療情報作成事業に参加いただけるよう、新規の医療情報取扱事業者に対し、事業参加の意義を訴求すると共に新たな付加サービスの戦略を基に事業展開を図る計画である。

2023年度に新たに参加する医療情報取扱事業者の目標値は図表1の通りである。

図表1. 契約施設数（見込み/目標数）

F Y	2022 (見込み)	2023 (年度末目標値)
医療情報取扱事業者 (契約締結医療機関)	60	68
上記以外 ※画像情報を含めた学会保有情報	0	15

1-3. 自ら取得する医療情報の内容及び規模

※ライフデータニシアティブ事業計画書と同様

昨年度（2022年度）と同様に、電子カルテデータ（診療行為結果）・レセプトデータ・DPC調査データを収集していくと共に、新たな取り組みとして追加申請中の医療画像情報の収集にも取り組み、医療情報の利活用事業に新たな価値を図る（図表2）（図表3）。

図表2. 収集する医療情報

収集時期	収集情報	収集方法
事業開始から 収集する情報	電子カルテ	医療情報取扱事業者から直接収集
	DPC調査データ	
	レセプトデータ	
2023年度（予定）	画像情報	医療情報取扱事業者から直接収集又は学会等からの収集

図表3：属性ごとの収集する医療情報項目

属性	内容
基本情報	患者情報、健康保険情報
診療行為	診断履歴情報、基礎的診断情報、初診時特有情報、経過記録情報
	手術記録情報、臨床サマリ情報、検歴情報、バイタルサイン 体温表、注射記録、透析、汎用措置
	画像情報
レポート情報	報告書情報
レセプト情報	医科入院、医科入院外、DPCレセプト
DPC情報	様式1、3、D、E、F、EF統合、Hファイル
その他情報	生活習慣情報、紹介状、処方箋
画像情報	超音波画像（DICOM）を中心とした画像情報

※収集する医療情報項目は医療情報取扱事業者により異なる。

また、前述の医療情報取扱事業者へのアプローチの成果として2023年度末の医療情報の提供施設（オプトアウト通知開始施設）並びに想定する収集人数（ユニーク患者数）の目標値を示す（図表4）。

図表4：医療情報取扱事業者数、収集人数規模の推移見込み

項目	2022年度（予定）	2023年度（目標）
医療情報取扱事業者 *一定の要件を満たすオプトアウト通知等の対応施設	49施設	55施設
収集患者数（ユニーク患者数）	159万人/年	200万人/年

1-4. 提供する匿名加工医療情報の内容及び提供先

※ライフデータイニシアティブ事業計画書と同様

2022年度までの提供実績は、民間事業者、大学病院等研究機関を中心に計20案件の匿名加工医療情報又は統計情報の提供を実施した。

2023年度については、昨年度の実績を基に認知度の向上、新たな医療情報利活用事業者の開拓を図り、民間事業者・学術機関での活用事例の更なる蓄積を目指す。また、新たな展開する医療画像情報を用いた利活用事例の創出も図れるよう提案を進めていく予定である。(図表5)

図表5：匿名加工医療情報または統計情報の提供件数（2023年度計画）

提供先	提供サービス	提供目標件数
民間企業	匿名加工医療情報	5
	統計情報	17
研究機関	匿名加工医療情報	2
	統計情報	13
医療機器等	医療画像情報/付帯情報	2

1-5. その他の活動

※ライフデータイニシアティブ事業計画書と同様

2022年度に引き続き、次世代医療基盤法並びに認定事業の社会認知活動を継続するとともに、本事業によるデータ活用の高度化に必要な学術支援や当事業で保有する情報の質向上を図る。

- ① 本データベースを活用した論文発表に向けた支援
- ② 収集した情報の質向上、サービス向上に繋がる研究の実施
- ③ 研究機関からのデータ活用に関する各種問合せへの対応
- ④ 認定事業に関わるシンポジウムの開催

以上